

W 1561-01

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-143413

(43)Date of publication of application : 02.06.1995

(51)Int.Cl.

H04N 5/44

(21)Application number : 05-307071

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 15.11.1993

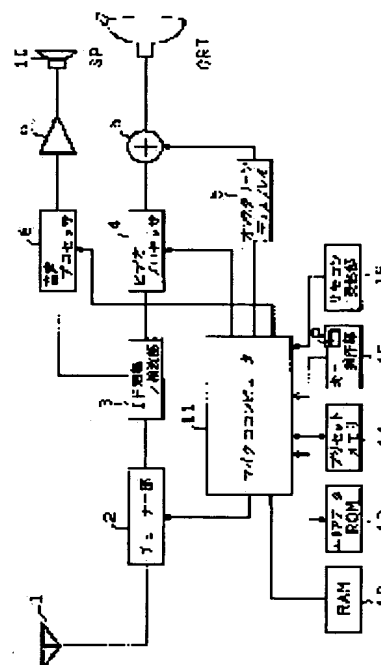
(72)Inventor :  
NOGAMI KAZUKI  
HAKAMATA KUNIO  
AMANO TOSHIO

## (54) AUTOMATIC CHANNEL PRESET ELECTRONIC EQUIPMENT

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To simplify the operation of channel presetting by controlling the element so as to replace channel selection data of a memory section with channel selection data of area data so as to set the channel preset immediately when the channel selection data in the memory section are coincident with the channel selection data stored in the memory section.

**CONSTITUTION:** When the user operates a preset key P of a key operation section 15, a microcomputer 11 is set to a channel preset mode by a command of the operation. The microcomputer 11 sets a channel number ( $n=1$ ). The microcomputer 11 controls a tuner section 2 to select a channel. When a reception signal is obtained from the channel selected at present, number data are preset to a position of the same number as the channel number received at preset in a preset memory 14. Then the channel number ( $n$ ) is incremented by one ( $n=n+1$ ) and when the number ( $n$ ) is larger than 62 (maximum channel number), an area data number ( $m$ ) stored in an area data ROM 13 is set to 1, the data contents in the memory 14 are compared and when the both are coincident, the data in the memory 14 are replaced with the area data of the number ( $m$ ).



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 29.03.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3365012

[Date of registration] 01.11.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-143413

(43) 公開日 平成7年(1995)6月2日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

H 0 4 N 5/44

識別記号

J

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平5-307071

(22) 出願日 平成5年(1993)11月15日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 野上 一樹

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72) 発明者 袴田 邦夫

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72) 発明者 天野 敏夫

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

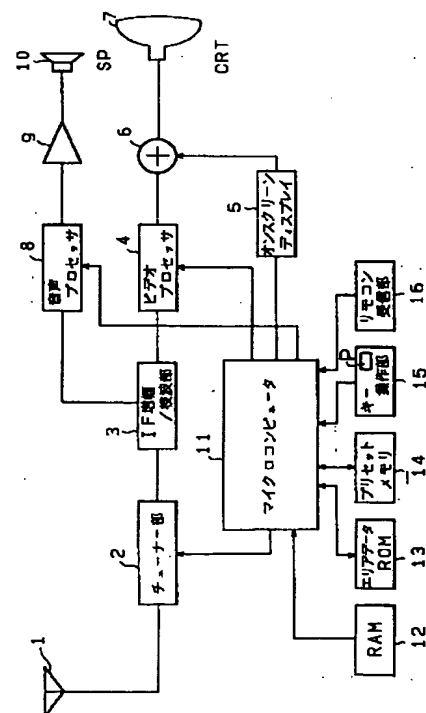
(74) 代理人 弁理士 脇 篤夫 (外1名)

(54) 【発明の名称】 チャンネル自動プリセット電子機器

(57) 【要約】

【目的】 ユーザーが最も実用的なチャンネルプリセットが即座に設定可能で、かつこのプリセット操作が簡略に行うことが出来るようにして、チャンネルプリセット時の煩雑な操作からユーザーを開放する。

【構成】 チャンネル自動プリセット電子機器において、所定の地域範囲ごとに受信可能な放送チャンネルと、その放送チャンネルを選局するための選局データがエリアデータとして予め記憶されたエリアデータ ROM 13 を設け、プリセットメモリ 14 に格納された選局データの放送チャンネルとエリアデータにおける選局データの放送チャンネルとを逐次比較していき、両者が一致した場合には、プリセットメモリ部の選局データを一致したエリアデータの選局データに置き換える制御が行われるように構成する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 チャンネル自動プリセットモードとされた場合には、自動スキャン受信動作により受信された放送チャンネルを選局データとしてプリセットメモリ部に記憶させることのできる機能を有するチャンネル自動プリセット電子機器において、

所定の地域範囲ごとに受信可能な放送チャンネルと、その放送チャンネルを選局するための選局データがエリアデータとして予め記憶されたエリアデータメモリ部を備え、

上記プリセットメモリ部に格納された選局データの放送チャンネルと上記エリアデータにおける選局データの放送チャンネルとを逐次比較して一致した場合には、上記プリセットメモリ部の選局データを、一致したエリアデータの選局データに置き換える制御が行われるように構成したことを特徴とするチャンネル自動プリセット電子機器。

【請求項2】 上記チャンネル自動プリセットモードは、各種操作を行うためのキー操作部に設けられた所定のキー操作により設定されることを特徴とする請求項1に記載のチャンネル自動プリセット電子機器。

【請求項3】 上記プリセットメモリ部又はエリアデータメモリ部の選局データが表示可能なように構成されていることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のチャンネル自動プリセット電子機器。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明はテレビジョン受像機やラジオ等の電子機器において、例えばオートスキャン動作により自動的にチャンネルプリセットを行うことが可能な機能を有するチャンネル自動プリセット電子機器に関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】 例えばテレビジョン受像機では、通常、工場出荷時のチャンネル設定はキー操作部やリモートコントローラ（以下リモコンとする）に設けられた1～12の選局キーに対応するポジション1～12に対し、VHF帯の1～12チャンネルが順に対応するように設定されている。そこで、地域によってUHF帯のチャンネル（13～62）を使用した放送局、あるいはケーブルテレビ放送（以下CATVという）がある場合には、所定のキー操作に従って、これらのチャンネルを空きのポジションに対して挿入するように設定することで、1～12の選局キーでこれらの放送を呼び出すことができるチャンネルプリセット機能を有するものが知られている。

【0003】 ところが地域によっては、その場所で受信可能な放送がすべてUHF帯のチャンネルを使用しているという状況もある。図4は地域A（例えば東京）と地域B（例えば群馬）での同一放送局のチャンネルの相違

を示しており、この図から分かるように地域A（東京）、B（群馬）で共に受信可能な放送局a（NHK）、b（NHK教育テレビ）、c（NTV）、d（TBS）、e（フジテレビ）、f（テレビ朝日）、g（テレビ東京）において、地域A（東京）ではVHF帯の1～12チャンネルのうち図に示すものが使用されているが、地域B（群馬）ではこれらの放送局はすべてUHF帯の図に示すチャンネルにより放送されている。なお、放送局hは地域Bのみで放送されている局（UHF帯）を示している。このような場合には工場出荷時のチャンネル設定のままでは1～12の選局キーを操作しても何も受信されないので、上記のような設定をすべての受信可能な放送局に対して行わねばならず、ユーザーにとっては非常に面倒なこととなる。また、ユーザーによってはチャンネル設定の方法がよく分からなかったり、故障と思われたりする場合も出てくる。

【0004】 このような状況から、チャンネルプリセットモード時には自動的にスキャンングを行っていき、受信信号が得られたチャンネルを選局キーのナンバーに対応するポジションに対して割り当てていく方法によるチャンネルプリセットが知られている。例えば、上記のようなチャンネルプリセット方式の一例として、チャンネルプリセットモードとされると先ずVHF帯又はCATVについてチャンネルサーチをしていき、この段階で受信信号が得られれば、このチャンネル番号に対応するポジションにサーチしたチャンネルをセットする。これによりVHF帯の放送はすべてチャンネルに対応したポジションにセットされる。次に、UHF帯を例えば小さいチャンネル番号側からサーチしていき、受信信号が得られた場合にはこのチャンネルを、小さいナンバーの空きのポジションからセットしていくものである。このようにしてチャンネルプリセットがなされた以降は、例えば1～12の選局キーを操作すればVHF帯、UHF帯、更にCATVを任意に選局することができる。

**【0005】**

【発明が解決しようとする課題】 上述のチャンネルプリセット方式は、例えば当該地域の全てのチャンネルがVHF帯である、あるいはほぼ全てがVHF帯で残りの一部がUHF帯更にCATVであるような場合には有効である。ところが逆に、すべてのチャンネルがUHF帯である、又はほとんどのチャンネルがUHF帯で残りの一部がVHF帯であるような場合には、次に述べるようにユーザーが希望するポジションに各チャンネルが設定されないことが多く、チャンネルプリセット後の通常の選局にあたって非常に使い勝手が悪いものとなってしまう。例えば、図4に示した地域Bにおいて上述の方式によりチャンネルプリセットを行うと、この結果は図5

(a)に示すようにポジション1～8に対して、UHF帯のチャンネルが小さい順にセットされることになる。ところが実際には、UHF帯による放送局がある地域で

は、その地域で慣用的にUHF帯のチャンネルに対して割り当てるべきポジションが存在することがあり、例えば、地域Bならば少なくとも放送局a~gに関しては、図5(b)に示すようなポジションに対するチャンネル設定が、例えばその地域の新聞等のテレビ欄で標準的なものとして表記されていたりする。したがって、ユーザーが図5(b)に示したポジションへのチャンネル割当が実際の使用上好ましいと思った場合には、結局自分で設定をしなければならず上述のチャンネルプリセットは無駄になる。このように、UHF帯のチャンネルの放送局が多い地域ではこのようなチャンネルプリセットは有効でないという問題を有している。

#### 【0006】

【課題を解決するための手段】そこで本発明は上記した問題点を解決し、ユーザーが最も実用的なチャンネルプリセットが即座に設定可能で、かつこのプリセット操作が簡略に行うことが出来るようにして、チャンネルプリセット時の煩雑な操作からユーザーを開放することを目的とする。このため、チャンネル自動プリセットモード時に自動スキャン受信動作により受信された放送チャンネルを選局データとしてプリセットメモリ部に記憶させることのできる機能を有するチャンネル自動プリセット電子機器において、所定の地域範囲ごとに受信可能な放送チャンネルと、その放送チャンネルを選局するための選局データがエリアデータとして予め記憶されたエリアデータメモリ部を設けることとした。そして、このプリセットメモリ部に格納された選局データの放送チャンネルとエリアデータにおける選局データの放送チャンネルとを逐次比較していき、両者が一致した場合には、プリセットメモリ部の選局データを一致したエリアデータの選局データに置き換える制御が行われるように構成することとした。また、チャンネル自動プリセットモードは各種操作を行うためのキー操作部に設けられた所定のキー操作により設定されるように構成することとした。更にプリセットメモリ部又はエリアデータメモリ部の選局データが表示可能なように構成することとした。

#### 【0007】

【作用】上記構成によれば、エリアメモリ部の選局データに基づいて、プリセットメモリ部に格納されたポジションごとのチャンネルデータを、当該地域において最適な対応となるように設定することができる。また、このようなチャンネルプリセットも例えばキー操作1つで行わせることが可能となる。更に、プリセットメモリ部又はエリアデータメモリ部のデータ表示が可能なように構成することで、データの確認が可能となる。

#### 【0008】

【実施例】図1は本発明の一実施例をテレビジョン受像機に適用した場合を示すブロック図であり、この図において1は放送電波を受信するアンテナを示し、2は受信電波について選局を行うチューナー部を示す。3はチュー

ナー部2より出力された信号について中間周波(IF)増幅および検波を行うIF増幅/検波部で、音声FM信号はこのIF増幅/検波部3で抽出されて音声プロセッサ8に供給される。4はビデオプロセッサを示し、IF増幅/検波部3からの映像検波信号を入力して映像信号に関する各種処理を行い、RGB信号として合成器6に出力する。なお、ここでは垂直/水平同期信号の抽出が行われるものとされるが、ここでは偏向系は省略して示している。5はオンスクリーンディスプレイを示し、例えばマイクロコンピュータ11で生成されたシンボルや文字等のキャラクタデータに基づいて、所定タイミングでRGB信号を出力する。6は合成器であり、ビデオプロセッサ4から供給されるRGB信号に対してオンスクリーンディスプレイ5から供給されるRGB信号を合成する。この合成器6の出力がCRT7に供給されることで画像表示が行われる。

【0009】8は音声プロセッサを示し、入力された音声FM信号を検波して、さらに音量、音質その他の処理を行い音声信号としてアンプ9に出力する。アンプ9で増幅された音声信号はスピーカ10に供給されて音声として出力される。

【0010】11はマイクロコンピュータを示し、チューナー部2の選局制御を初めとしてその他各機能回路部の動作の制御や、後述するチャンネルプリセット時の制御を行う。12はRAMであり、テレビジョン受像機の各種設定データが記憶されており、例えば電源オフ時のラストチャンネルの記憶やラストボリューム等のデータも、このRAM12に保持される。13はエリアデータROMを示し、このエリアデータROM13にはエリア(地域)ごとにポジションに対応するチャンネルの選局データが、それぞれ所定範囲のエリア(地域)ごとにあらかじめ設定されて記憶保持されている。例えば図5

(b)に地域Bで利用されているチャンネル割り当てを示したが、このような1~12のポジションに対するチャンネルの割り当てデータが、各エリアごとに設定されているわけである。また、14はプリセットメモリであり、後述するチャンネルプリセットにより設定される選局データがプリセットデータとして記憶保持される。

【0011】15は機器本体に設けられるキー操作部を示し、ここに設けられている各種キーを操作することで、チャンネル切換・音量調節その他の各種機能をユーザーがコントロールすることができる。また、本実施例においてはこのキー操作部15には例えばチャンネルプリセットモードに入るためのプリセットキーPが設けられる。16はリモコン受信部を示し、図示しないリモコンからのコマンド信号を受信して、これをコマンドコードとしてマイクロコンピュータ11に供給する。なお、リモコンには少なくともキー操作部15と同等の操作が可能だけのキーが設けられているものとされる。

【0012】そこで次に、本実施例におけるチャンネル

プリセットについて図2を参照して説明する。まず、これよりチャンネルプリセットを行うにあたり、エリアデータROM13に記憶保持されている複数のエリアデータのうち、現在本実施例のテレビジョン受像機が設置されているとされる地域に対応して設定されているエリアデータは図2(a)に示すものであるとする。つまり、キー操作部のチャンネル切換えキーに対応する1~12のポジションに対して、図に示す各チャンネルが対応するように割り当てられており、例えばこのチャンネル配置が当該地域では新聞のテレビ欄に表記されて慣用的に多く使用され、最も実用的なものとされる。また、例えば本実施例のテレビジョン受像機の工場出荷時のチャンネルプリセット(ファクトリープリセット)は図2

(b)に示すようになっている。つまり、キー操作部のチャンネル切換えキーに対応する1~12のポジションに対して、それぞれ1~12ch(チャンネル)が対応して設定されている。そして、この図2(b)に示すデータがファクトリープリセットとしてプリセットメモリ14にセットされていることになる。

【0013】ここで、例えばユーザーがキー操作部15あるいはリモコンによりプリセットキーPを操作すると、これによりプリセットモードに入ることとなる。ところで、本実施例の一連のチャンネルプリセットは2段階の設定動作に分けることができるため、先ず第1段階に於ける動作から説明する。上記のようにしてプリセットモードに入ると、先ずチャンネルプリセットの第1段階として、チューナー部2はVHF帯を例えば小さいほうのチャンネルから次々にスキャンしていく。この過程で放送が行われているVHF帯のチャンネルでは受信信号が得られることとなるが、初めにこのようにして受信されたチャンネルがポジションのナンバーと対応するようにプリセットメモリ14にセットされる。例えば、当該地域において上記のようにVHF帯のチャンネルがすべてプリセットメモリ14にセットされた場合には図2(c)に示すようになる。つまり、この地域ではVHF帯で放送されているチャンネルは2ch、4ch、5ch、7ch、9ch、11chであるが、これらのチャンネルがすべて同じナンバーのポジションに対して割り当てられた状態となる。

【0014】このようにしてVHF帯をすべてスキャンしてVHF帯のチャンネルの設定が終了すると、次はチューナー部2はUHF帯を例えば小さいほうのチャンネルからスキャンしていく。そして、受信信号が得られたチャンネルについては、空きのポジションの小さいナンバーのほうから順にプリセットメモリ14にセットしていく。ただしこの際、ポジション1及びポジション2に対しては共に空きの状態でない限りUHF帯のチャンネルデータはセットされないようにされることが好ましい。これは、1ch又は2chはビデオ用のチャンネルとして利用されることもあるため、1ch又は2chの

少なくともいずれか一方は空きチャンネルとしておく必要があることによる。そして、上記のようにしてUHF帯のチャンネルセットが終了すると、例えば当該地域の場合には図2(d)に示すようになる。つまり、図2

(c)で示したVHF帯のチャンネルがセットされなかった空きポジションのうち、上述の理由によりポジション1を除いて破線の矢印に示すポジション3、6、8、10、12に対して、それぞれチャンネルの小さい順に13ch、15ch、22ch、32ch、35chがセットされることとなる。ここまでで第1段階は終了し、次は第2段階のチャンネルプリセット動作に入ることとなる。

【0015】第2段階においては、先ず第1段階でプリセットメモリ14にセットされたプリセットデータ(例えば図2(d)に示される内容)とエリアデータROM13に記憶されている地域ごとのポジションとチャンネルの対応データ、すなわちエリアデータとを比較していくことが行われる。具体的には先ずエリアデータROM13に記憶されているエリアデータを1つずつ順に呼出し、そのエリアデータのチャンネル数が第1段階でプリセットメモリ14にセットされたチャンネル数と一致しているかどうかをみて一致していなければ次のエリアデータと比較する。そして、チャンネル数が一致すればさらにそのエリアデータのチャンネルの番号とプリセットメモリ14にセットされたチャンネルの番号とが一致しているかどうかをみて(順不同であってもよい)、もし一致しなければ次のエリアデータと比較する。このように順に比較を行っていき、チャンネル数も個々のチャンネル番号も一致したエリアデータが検索されれば、今までセットされたデータから検索されたエリアデータの内容にプリセットメモリ14を書き換えることが行われる。ここまでで第2段階が終了する。

【0016】例えば当該地域の場合には、上記図2(d)に示した第1段階終了後のプリセットメモリ14のデータ内容を基にエリアデータとの比較が行われることで、エリアデータROM13のエリアデータのうち図2(a)に示すデータ内容のエリアデータが特定される。つまり、図2(d)と図2(a)の内容を比較した場合、ポジションに対してセットされているチャンネル数が共に11個存在し、かつ順不同であるが互いに設定されているチャンネルも一致している。そして、これまで図2(d)に示す内容となっていたプリセットメモリ14のポジションに対するチャンネルのデータは、図2(a)に示す内容に書き換えられて第2段階が終了することとなる。

【0017】一方、上記検索を行ってもプリセットメモリ14に現在セットされているデータ内容と一致する内容のエリアデータが存在しない場合には、現在プリセットメモリ14にセットされている内容を、そのままチャンネルプリセットデータとして確定して記憶保持し、第

2段階を終了する。例えば、エリアデータROM13に図2(a)に示す内容のエリアデータがないとすれば、図2(d)のデータがそのままプリセットデータとしてプリセットメモリ14に保持されることとなる。

【0018】このようにして第2段階のチャンネルプリセットが終了すると、これにともないチャンネルプリセット動作もすべて完了する。そして、チャンネルプリセットモードを抜けて画像表示等の通常のモードに移行することとなるが、本実施例の場合チャンネルプリセット終了直後に表示される画像のチャンネルは、例えば、最小のポジションに対してセットされているチャンネルを選局するようにされる。したがって、プリセットメモリ14に記憶されるプリセットデータが図2(a)に示すものとなった場合には、ポジション1に対してセットされている7chを選局して表示し、また、プリセットデータが図2(d)に示すものとなった場合には、ポジション2に対してセットされている2chを表示することになる。

【0019】次に、上記チャンネルプリセット時におけるマイクロコンピュータ11の処理動作を図3のフローチャートを参照して説明する。前述のように、ユーザーがキー操作部15あるいは図示しないリモコンに設けられているプリセットキーPを操作すると、このコマンド信号がマイクロコンピュータ11に入力され、これによりマイクロコンピュータ11はチャンネルプリセットモードに入ることとなる(F101)。チャンネルプリセットモードに入るとマイクロコンピュータ11はステップF102に進み、チャンネルナンバーを示す変数nについて $n=1$ としてステップF103に進む。

【0020】ステップF103では、マイクロコンピュータ11はチューナー部2を制御してナンバーnのチャンネルの選局が行われるようにする。従って、チャンネルプリセットにおける最初のこのステップでは1chの選局を行うことになる。そして次にステップF104に進み、現在選局しているチャンネルから受信信号が得られているかどうかを判別する。ここで、受信信号が得られなかった場合には後述するステップF108に進むが、受信信号が得られた場合にはステップF105に進む。

【0021】ステップF105では現在受信中のチャンネルがVHF帯であるかどうかを判別しており、VHF帯であると判別されればステップF106に進み、現在受信中のチャンネルナンバーと同じナンバーのポジションに対して、このチャンネルナンバーデータをプリセットメモリ14に対してセットしてステップF108に進むが、一方、VHF帯でないと判別された場合には、現在受信中のチャンネルはUHF帯又はCATVであり、VHF帯のチャンネルについては既に対応するポジションJに対してセットが完了した状態であるから、空きのポジションの最小のナンバーに対して現在受信中のチャンネルナンバーをセットしてステップF108に進む。

【0022】ステップF108では変数nについて $n=n+1$ とインクリメントしてステップF109に進み、ここで現在の変数nについて $n>62$ とされているかどうかを判別する。なお、この62とはUHF帯における最大のチャンネルを示している。ここで、 $n>62$ となっていない場合には、まだサーチすべきチャンネルが残っているものとしてステップF103に戻る。この処理により、順次チャンネルサーチ(スキャン)が行われていくこととなる。そして、このステップで $n>62$ であると判別された場合には、すべてのチャンネルのサーチが完了したとしてステップF110に進むこととなる。この段階では、当該地域で受信可能なチャンネルが例えば図2(d)により説明したような状態でプリセットメモリ14にセットが完了した状態となっている。従って、ステップF109からステップF110に進むことにより、第1段階が終了して第2段階に移行することとなる。

【0023】第1段階の最初のステップであるステップF110ではエリアデータROM13に保持されているエリアデータに付されているとされるエリアデータナンバーを示す変数mについて $m=1$ と設定して、ステップF111に進む。ステップF111では、前述したようにナンバーmのエリアデータ内容と現在プリセットメモリ14にセットされているデータ内容を比較する。そして、次のステップF112で両者のデータ内容(セットされているチャンネル数及びチャンネルナンバー)が一致しているかどうかを判別し、一致している場合にはステップF113に進み、プリセットメモリ14のデータについて、現在セットされているものから、ナンバーmのエリアデータデータに置き換える処理を行ってステップF117に進む。一方、ステップF112でデータ内容が一致していないと判別されたのであれば、ステップF114に進み変数mが最大であるかどうか、つまりすべてのエリアデータとの比較が済んだかどうかを判別し、ここで変数mが最大でないと判別された場合にはステップF115に進んで変数 $m=m+1$ とインクリメントしてステップF111に戻る。この処理により、プリセットメモリ14にセットされているデータ内容と一致するエリアデータが得られるまでエリアデータナンバー順に検索が行われていくこととなる。一方、ステップF114で変数mが最大であると判別された場合には、エリアデータROM13には現在プリセットメモリ14にセットされているデータと一致する内容のものが無いということになるため、ステップF116に進んで、現在プリセットメモリ14にセットされている第1段階で得られたままのデータを、チャンネルプリセットデータとしてプリセットメモリ14に記憶保持させて、ステップF117に進むこととなる。

【0024】以上の処理を経て、ステップF113又はステップF116からステップF117に進む段階で第2段階が終了しチャンネルプリセットモードも解除されることとなるが、このステップF117では、プリセットメモリ14の最

小のポジションにセットされたチャンネルを選局するようにチューナー部2を制御して、例えば通常のルーチンに戻る事となる。

【0025】また、本実施例のテレビジョン受像機においては図1に示すようにオンスクリーンディスプレイ5が設けられて、例えばチャンネルや音量レベル等をはじめとする各種表示が可能のように構成されている。そして、更に本実施例においては、マイクロコンピュータ11内部にエリアデータに関するキャラクタ情報を記憶保持させておき、例えばキー操作部の所要の操作に基づいて、これらのキャラクタデータをオンスクリーンディスプレイ5に供給して、エリアデータROM13のエリアデータ内容を表示させて一覧可能としたり、現在プリセットメモリ14に記憶されているチャンネルプリセットデータを表示させてユーザーの確認が可能のように構成することが可能とされる。なお、この場合のデータの表示形態は各種考えられるが、例えば図2(a)に示すような形態により表示が行われればよい。

【0026】また、上記実施例においてはエリアデータやプリセットデータのポジションは1~12まで設定されているが、ポジション数はこれに限定されるものではなく、本発明のチャンネル自動プリセット電子機器の使用される地域や国等の相違に適応するように任意に設定されればよい。また、上記実施例はチャンネル自動プリセット電子機器としてテレビジョン受像機を例に説明したが、例えばラジオなどプリセット機能を有する他の電子機器に対しても応用が可能である。

【0027】

【発明の効果】以上説明したように本発明のチャンネル自動プリセット電子機器は、エリアデータROMのエリアデータに基づいて、プリセットメモリ部に格納されたポジションごとのチャンネルデータを、当該地域において最適な対応となるように設定することができるため、例えば従来のようにチャンネルプリセット後にチャンネルのポジション対応を変更するようなことをしなくと

も、当該地域でもっとも実用的なチャンネル設定を即座に得ることが可能となり、ユーザーが複雑なチャンネル設定操作から解消されるという効果がある。そして、チャンネルプリセットモード時の処理動作はすべて自動的に行われるので、例えばキー操作部にプリセットモードに入るためのプリセットキーPを設けておけば、このキーの操作のみという非常に簡単な操作でチャンネルプリセットを実行することができるという効果も有している。また、エリアデータや現在のチャンネルプリセットデータを表示可能にすることで、特にほとんどの放送がUHF帯で行われているような地域では、どのポジションで実際にはどのチャンネルの放送を見ているのかなどを容易に確認することもできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のチャンネル自動プリセット電子機器の実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】本実施例のエリアデータ内容及びチャンネルプリセットを示す説明図である。

【図3】本実施例においてチャンネルプリセット時の処理動作を示すフローチャートである。

【図4】地域A、Bのチャンネル対応を示す説明図である。

【図5】従来におけるチャンネルプリセット結果の一例及び地域Bのチャンネル使用例を示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 アンテナ
- 2 チューナー部
- 5 オンスクリーンディスプレイ
- 11 マイクロコンピュータ
- 12 RAM
- 13 エリアデータROM
- 14 プリセットメモリ
- 15 キー操作部
- 16 リモコン受信部
- P プリセットキー

【図4】

放送局	a	b	c	d	e	f	g	h
放送A	1 ch	3 ch	4 ch	6 ch	8 ch	10 ch	12 ch	
放送B	52 ch	50 ch	54 ch	56 ch	58 ch	60 ch	62 ch	48 ch

地域A・Bのチャンネル対応関係

【図5】

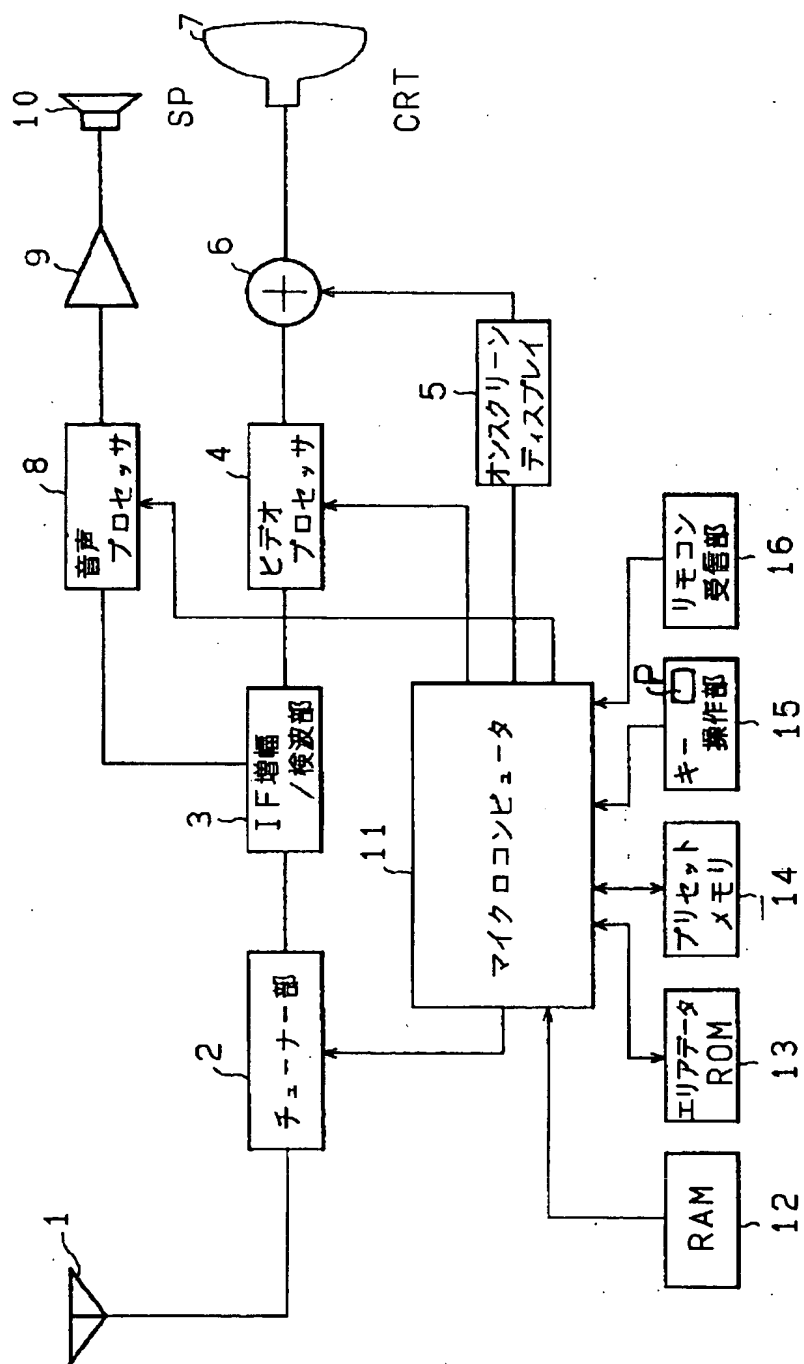
(a)

ポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
チャンネル	48 ch	50 ch	52 ch	54 ch	56 ch	58 ch	60 ch	62 ch				

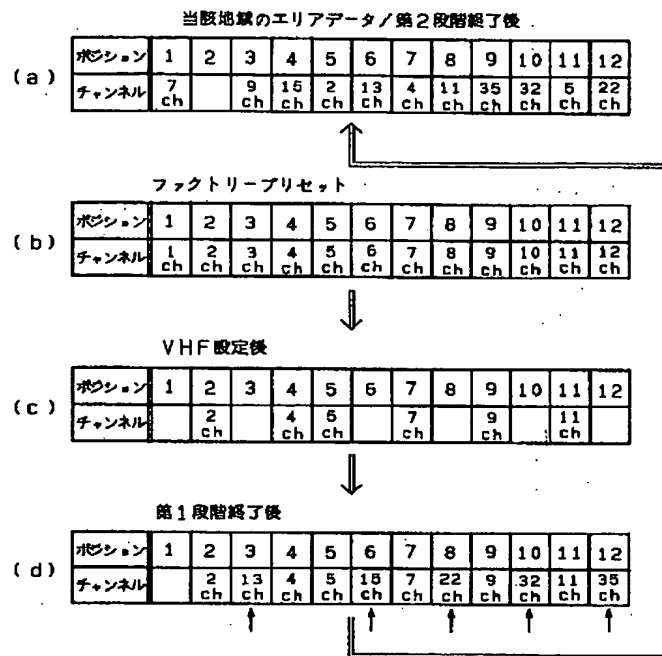
(b)

ポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
チャンネル	52 ch		50 ch	54 ch		56 ch		58 ch		60 ch		62 ch

【図1】



【図2】



【図3】

